

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		こども食堂運営補助事業費 [子ども食堂運営補助事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	社会福祉費	目 4	社会福祉総務費	事業番号	8	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	子育て支援		課 子ども家庭支援センター		係	課長名	新海 隆弘		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書 (ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 居場所や食の確保等が不足している児童			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) →0歳から17歳までの児童人口(令和2年4月1日)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 子どもを安心して産み育てることができる環境を整備する。 子ども達が心身ともに健やかに成長する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) →①実施団体数 ②実施回数					
	③ そのために何をしましたか。 事業を行う社会福祉協議会に補助を実施する。事業について、チラシの設置等で周知する。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) →延参加者数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人			13,316			
	成果指標	②の数値	①団体 ②回			①2 ②30			
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 都事業実施要綱及び都補助金要綱					
3 経費	活動指標		③の数値	人			943		
	事業費(実績)		円			0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円			0			
		特定財源	円			0			
		(うち受益者負担)	円			0			
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人						
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円						
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円			0				
4 環境変化等	(1) 開始年度		30 年度						
	(2) 環境の変化 平成30年度新規事業。東大和市社会福祉協議会が実施する「こども食堂活動費特別助成事業」に対し、補助金を支出することにより、東大和市における子ども食堂の活動支援を図った。なお、平成31年度の対象団体は2団体であったが寄付金等の収入が多く、補助金を必要としなかった。								

事業名称	こども食堂運営補助事業費 [子ども食堂運営補助事業]		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 気軽に親子でも参加できるため、とても安心できるとの声があり、参加者からは概ね好評である。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤東大和市社会福祉協議会	
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 社会福祉協議会が開催する子ども食堂連絡会に参加するなど連携を図っていく。		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
	施策名： 児童福祉の推進		
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止		
	【取組内容】 対象団体は2団体あったが、寄付金等収入が多く、結果的に補助金を必要としなかったことを念頭に、今後の運営補助事業の必要性について検討を要する。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	令和2年度においても、運営状況を把握し、運営補助の必要性について、社会福祉協議会と調整が必要である。		